

暮らしを楽しく快適にするリフォームマガジン

DAIKEN
REFORM
MAGAZINE

ダイケンリフォームマガジン



靴を収納するだけではもったいない“玄関収納”！ 玄関から時短！ 多忙な朝を快適にするリフォームとは

自分の出勤準備に加えて、お弁当や朝ごはん作り、登校準備、子どもの送迎などが重なり、毎朝バタバタ状態で家を出ている方は多いと思います。しかし、少しの意識改革とリフォームで、多忙な朝を快適にできる可能性があります。

それぞれが身仕度するための動きがスムーズにいかない。

家族の出かける時間が重なっていて、いつも玄関が混み合ってしまう。

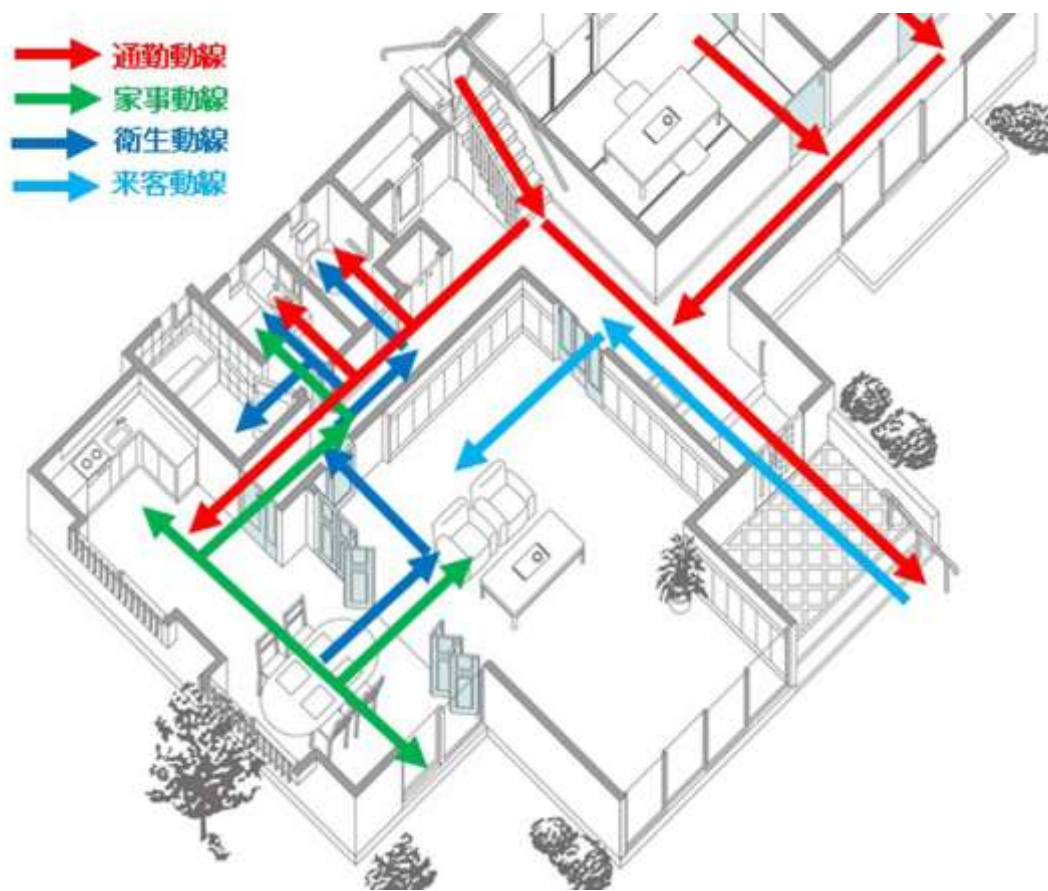
そんな悩みをお持ちなら、玄関の収納と家族の動線を合わせて見直してみてもいいでしょうか。

動線とは「生活動線」のことで、家事をする際に使う「家事動線」、トイレや洗面所、浴室など、主に水回りを利用する時に使う「衛生動線」、来客時、お客様が玄関からリビング

グまでに通る「来客動線」、通勤・通学の支度をするために家の中を移動する「通勤動線」などがあります。

その中から今回は、朝の忙しさを解消するために「通勤動線」に着目してみたいと思います。

まずは家族それぞれの動線をチェック！



毎朝、出かける前に行う動作は人それぞれですが、洗顔や朝食などある程度共通する行動も多く、動線もパターン化されていることがほとんどです。

互いのタイミングを少しずつずらすとスムーズな流れができ、特定の場所で混雑することがなくなります。

結果、時短にも繋がり、時間にも気持ちにも余裕が持てることでしょう。

そのためにはまず、家族全員が朝の「通勤動線」をお互いに把握し、洗面所、トイレ、食事を摂るためのダイニングなど、全員が使う場所をより効率的に使うための順番や時間を決めることから始めてみましょう。

生活動線に合わせた収納配置を

それぞれの動線が確認できたら、次は収納の配置を考えていきます。

収納場所を考える時はまず家族ごとに、室内でも使うものと外出時にしか使わないもので分けてみましょう。

子どものものは全て子ども部屋、洋服は全てクローゼット、などと決めてしまうより、使う場合に合わせて収納場所を決めるほうが効率的です。

そして今回は、そのなかでも通勤時間の時短に直結する、玄関収納に注目します。

外出時にしか使わないものは玄関収納へ！



通勤時にしか使わないものに関しては、玄関収納に入れて家の中に持ち込まないようにするのが一番です。

コートなどの上着、帽子、マフラーなどを室内に持ち込まないことは、通勤時の時短になるだけでなく、部屋が散らかる原因を除去し、ホコリやウイルス、花粉が室内に侵入することを防ぐメリットも生みます。コートなどのアウターを収納するにはオープンタイプの

収納が最適です。出し入れが簡単で効率よく動けますし、家族全員のコートもすっきり掛けておけます。

そこで、おすすめしたいが、DAIKENの『hapia（ハピア） 玄関収納』シリーズです。デザインやカラーバリエーションが豊富なだけでなく、収納をより便利にするオプションパーツも数多く揃っているので、自分好みにカスタマイズして、自分だけの玄関周りを創り出せるのが大きな魅力です。

DAIKENの玄関収納に用意されているオプションの『ハンガーユニット』（上記画像内、玄関左の収納）は、服の出し入れをスムーズに行えるオープンタイプで、まさに朝の時短にうってつけの収納です。

また、子どもが運動部で活動している中高生の場合は、スポーツ用品やスパイクなどの持ち物も多く、必然的にバッグも大きなものとなってしまいます。そんな大きなスポーツバッグを室内で持ち歩いていては、他の家族の動線を妨げることにもなります。室内では使うことのない部活の道具などを入れたバッグは玄関収納にしまうのが良いでしょう。そうすることで朝の準備の際も身軽になり、本人だけでなく、他の家族の動線を妨げることもなくなるため、皆がスムーズに動けるようになります。



また、場所をとるものの収納には DAIKEN の玄関収納に設置できる『トランクユニット』がおすすめです。大きなスペースを確保できる『トランクユニット』なら折り畳んだベビーカーやゴルフバッグなどの大きなものも楽々収納可能です。



さらに、収納の内部だけでなく、外側も有効活用したいところです。DAIKENの玄関収納にオプションで追加できる『ハンガーエンドパネル』があれば、気軽に帽子などの小物を掛けておくことができます。

扉を開けなくてもサッと手に取ることができるので、忙しい朝でも時間がかかりません。

収納以外にも、玄関にお出かけ前の全身チェックができる大きな鏡や、靴の脱ぎ履きをサポートする椅子があると玄関はより便利になります。

DAIKENの『hapia（ハピア） 玄関収納』シリーズなら、収納扉を鏡にすることもできるので、ぜひ採用したいところです。



また、玄関に椅子があると、靴の脱ぎ履きが困難なお年寄りだけでなく、ロングブーツを脱ぎ履きする女性や、小さなお子さんのいるママにも重宝します。

DAIKENの玄関収納のオプションにある『ベンチユニット』を追加すれば、玄関収納とデザインがマッチしたおしゃれな椅子を設置できます。玄関周りで使う小物を収納可能な引き出し付きで、椅子の下部が大きく空いていて足がぶつからず、楽に座れるなど機能性にも優れています。



椅子を置くスペースが無かったり、玄関をすっきりさせたい方には、DAIKENの『カベピタ<格納椅子>』がおすすめです。通常は壁に椅子が収納されるので邪魔にならず、使いたいときだけ椅子を出せるので、設置しておく和家人みんなで使えて便利です。



1分1秒でも無駄にしたくない通勤・通学時間。

通勤動線を含めた生活動線を考慮し、収納場所を変えて、玄関収納を充実させることで、かなり快適になることがお分かりいただけたのではないのでしょうか。

DAIKENの『hapia（ハピア） 玄関収納』シリーズは、豊富な品ぞろえの中からライフスタイルや自分の好みに合わせて収納をセレクトして、自分だけの玄関周りを創り出せるのが大きな魅力です。忙しい家族全員の朝を収納面からサポートする玄関収納の改善について、ぜひ検討してみてください。

DAIKEN ショールーム

<https://www.daiken.jp/sr/>

※記事掲載時点の情報と、各ショールームの展示製品が異なる場合がございますので、あらかじめ各ショールームにお問い合わせ・ご確認のうえ、ご来館ください。

【DAIKEN リフォームマガジン 2019年11月号掲載】